



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 三井情報株式会社

コード番号 2665 URL <http://www.mki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 下牧 拓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO

(氏名) 佐野 秋生

TEL 03-6376-1008

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	35,496	10.8	1,423	160.7	1,522	150.3	813	290.4
23年3月期第3四半期	32,046	△2.7	546	13.9	608	14.8	208	3.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 827百万円 (326.8%) 23年3月期第3四半期 193百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	687.45	—
23年3月期第3四半期	176.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,407	30,745	78.0
23年3月期	40,011	30,509	76.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 30,745百万円 23年3月期 30,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	200.00	—	300.00	500.00
24年3月期	—	200.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	300.00	500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	9.2	2,400	18.2	2,500	15.6	1,400	23.4	1,183.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	1,183,431 株	23年3月期	1,183,431 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	1,183,431 株	23年3月期3Q	1,183,431 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響からは緩やかに持ち直しつつありますが、設備投資は依然として鈍く欧州の政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れや円高の影響が懸念される中、全体的に不安定な状況が継続しました。

当社グループが属するITサービス業界においては、震災を機に高まっているBCP（事業継続計画）を考慮したインフラ見直しやスマートフォン市場の拡大に伴うネットワーク関連設備の需要などが伸びましたが、先行きの不透明感の影響もあり企業のIT投資は全体的に慎重な姿勢が継続しました。

このような中、中期経営計画（平成23年3月期～平成25年3月期）の2年目を迎えた当社グループは、重点方針である「既存事業の強化徹底による全社成長の実現」「新規サービスモデルの早期収益化・継続拡大」「成長を支える業務基盤の強化」実現のために、当連結会計年度は「ビジネスイノベーション」を実行することを目標として、これまで以上に当社グループのビジネススタイルを見つめ直し、革新的な価値創造を目指しています。

当第3四半期連結累計期間においては、海外での事業展開を加速するため米国の拠点強化に加え、欧州（イギリス）とアジア（シンガポール）に新たな拠点を設置して、10月から本格的に営業を開始しました。今後は、これらの拠点を利用してグローバルベンダーとの関係強化を図り、アジアを中心とする世界市場にビジネス展開を図っていきます。

また、4月に新設したR&Dセンターを中心にビッグデータ（※1）やクラウドといった最新のIT技術に取り組んでおり、ビッグデータにおいてはすでにバイオサイエンスの分野で大手ソフトウェア企業と共同プロジェクトを開始しました。

(損益の状況及びセグメント情報)

当第3四半期連結累計期間においては、ネットワーク構築案件やクラウド関連サービスが引き続き好調に推移した結果、売上高は354億96百万円（前年同期比10.8%増）となりました。利益面においては、営業利益は14億23百万円（同160.7%増）、経常利益は15億22百万円（同150.3%増）、四半期純利益は8億13百万円（同290.4%増）となりました。

セグメント別売上高の内訳と概況は以下のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）		当第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）		前年同期 増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	
ビジネス ソリューション事業	14,552	45.4	14,158	39.9	△2.7
プラットフォーム ソリューション事業	15,524	48.5	18,480	52.1	19.0
サービス事業	1,968	6.1	2,857	8.0	45.2
合計	32,046	100.0	35,496	100.0	10.8

ビジネスソリューション事業

金融機関向けのシステム構築やソリューション提供、及び昨年受注した新規顧客向けの大型ERP案件は好調に推移しました。しかし、主要顧客向けの案件が縮小したことに加えて、新規ソリューションの顧客開拓が十分に進まなかったことから、売上高は141億58百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

プラットフォームソリューション事業

スマートフォン市場の拡大を背景とした通信キャリア向けのネットワーク構築案件は順調に進み、売上増加に貢献しました。また、コンタクトセンターシステムの運用アウトソースサービスの提供や新たな認証基盤ソリューションの販売を開始するなど、市場の開拓に向けて積極的に取り組みました。その結果、売上高は184億80百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

サービス事業

データセンターサービスにおいては、新データセンターを活用した積極的な営業活動により、業績は堅調に推移しました。クラウド関連サービスにおいては、節電志向でニーズが高まっているエネルギーマネジメント（※2）ソリューションなどが業績向上に貢献しました。その結果、売上高は28億57百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

（※1）ビッグデータとは、主に非定型でリアルタイム性が高いデータを指し、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などの情報メディアやスマートフォンなどのモバイル端末の普及により急速に増えています。最近では、この膨大なデータを効率的に処理・活用するための様々な手法が検討されており、ビジネスの場においてもこの手法を使って新たなビジネス創出やコスト削減に活用することに注目が集まっています。

（※2）エネルギーマネジメントとは、建物内で利用する電気やガスといったエネルギー使用量を測定・分析し、機器、設備等の運転管理を調節することでエネルギー消費の効率化やパフォーマンスの向上につなげていこうとする管理手法です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は394億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億3百万円の減少となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金8億22百万円の減少、受取手形及び売掛金17億43百万円の減少等がありましたが、仕掛品10億97百万円の増加、預け金15億円の増加等により、前連結会計年度末に比べて1億99百万円の増加となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産3億63百万円の減少、無形固定資産1億43百万円の減少、投資その他の資産2億96百万円の減少により、前連結会計年度末に比べて8億3百万円の減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は86億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億40百万円の減少となりました。

流動負債につきましては、前受金6億10百万円の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金5億23百万円の減少、未払法人税等6億77百万円の減少、賞与引当金3億57百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて8億26百万円の減少となりました。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて13百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は307億45百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億36百万円の増加となりました。

株主資本につきましては、配当による利益剰余金5億91百万円の減少がありましたが、当期純利益の計上による利益剰余金8億13百万円の増加により、前連結会計年度末に比べて2億21百万円の増加となりました。

その他の包括利益累計額につきましては、前連結会計年度末に比べて14百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの平成24年3月期の連結業績につきましては、積極的な営業活動を展開してきた結果、通信キャリア向けのネットワーク構築案件などが好調に推移したことにより、売上高は平成23年5月6日に公表いたしました当初の予想を上回る見込みです。利益につきましても、売上高増加による増益および経費の低減などにより、当初の予想を上回る見込みです。

なお、平成24年3月期期末の配当につきましては、平成23年5月6日に公表しましたとおり、1株当たり300円を予定しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 47,000	百万円 2,000	百万円 2,100	百万円 1,100	円 銭 929.50
今回修正予想 (B)	51,000	2,400	2,500	1,400	1,183.00
増減額 (B-A)	4,000	400	400	300	-
増減率 (%)	8.5	20.0	19.0	27.3	-
(参考) 前期 (平成23年3月期) 実績	46,692	2,029	2,162	1,134	958.70

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,757	5,935
受取手形及び売掛金	8,883	7,139
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	514	656
仕掛品	658	1,756
前払費用	1,094	1,391
預け金	10,500	12,000
その他	828	557
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	31,235	31,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,453	2,202
工具、器具及び備品（純額）	1,478	1,355
土地	1,550	1,550
その他（純額）	1	13
有形固定資産合計	5,484	5,121
無形固定資産		
のれん	42	17
その他	1,030	912
無形固定資産合計	1,072	929
投資その他の資産		
差入保証金	1,479	1,105
その他	753	831
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	2,219	1,922
固定資産合計	8,776	7,973
資産合計	40,011	39,407
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,706	3,183
未払法人税等	719	42
前受金	2,341	2,952
賞与引当金	1,256	898
役員賞与引当金	39	20
受注損失引当金	—	59
その他	1,177	1,257
流動負債合計	9,241	8,414
固定負債		
資産除去債務	59	60
負ののれん	129	122
その他	72	64
固定負債合計	260	247
負債合計	9,502	8,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,113	4,113
資本剰余金	14,470	14,470
利益剰余金	11,964	12,186
株主資本合計	30,549	30,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	2
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	△22	△26
その他の包括利益累計額合計	△39	△25
純資産合計	30,509	30,745
負債純資産合計	40,011	39,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	32,046	35,496
売上原価	23,308	25,767
売上総利益	8,737	9,728
販売費及び一般管理費	8,191	8,304
営業利益	546	1,423
営業外収益		
受取利息	13	32
受取配当金	3	6
為替差益	13	—
持分法による投資利益	3	3
受取保険金	—	19
その他	28	41
営業外収益合計	63	103
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	1	—
為替差損	—	3
その他	0	1
営業外費用合計	1	5
経常利益	608	1,522
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	4	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	4	9
投資有価証券売却損	3	—
投資有価証券評価損	8	—
会員権評価損	1	1
貸倒引当金繰入額	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46	—
特別損失合計	68	11
税金等調整前四半期純利益	544	1,511
法人税、住民税及び事業税	306	448
法人税等調整額	28	249
法人税等合計	335	697
少数株主損益調整前四半期純利益	208	813
四半期純利益	208	813

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208	813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	21
繰延ヘッジ損益	△18	△2
為替換算調整勘定	△8	△4
その他の包括利益合計	△14	14
四半期包括利益	193	827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193	827
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	ビジネスソ リューション事 業 (百万円)	プラットフ ォームソリ ューション 事業 (百万円)	サービス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	14,552	15,524	1,968	32,046	—	32,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	246	122	165	534	△534	—
計	14,799	15,647	2,133	32,580	△534	32,046
セグメント利益又は損失(△)	797	△99	△433	264	281	546

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりです。

	当第3四半期連結累計期間 調整額(百万円)
セグメント間取引消去等(※1)	277
のれんの償却額	△2
全社費用配賦差額(※2)	10
棚卸資産の調整額	△2
固定資産の調整額	△0
合計	281

(※1) セグメント間取引消去等の主な内容は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない本社管理部門の営業外収益との消去によるものです。

(※2) 全社費用については社内基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	ビジネスソ リューション事 業 (百万円)	プラットフ ォームソリ ューション 事業 (百万円)	サービス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	14,158	18,480	2,857	35,496	—	35,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	256	30	10	297	△297	—
計	14,415	18,510	2,868	35,793	△297	35,496
セグメント利益又は損失(△)	1,028	470	△421	1,078	345	1,423

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりです。

	当第3四半期連結累計期間 調整額(百万円)
セグメント間取引消去等(※1)	119
全社費用配賦差額(※2)	234
棚卸資産の調整額	△11
固定資産の調整額	2
合計	345

(※1) セグメント間取引消去等の主な内容は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない本社管理部門の営業外収益との消去によるものです。

(※2) 全社費用については社内基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
ビジネスソリューション事業 (百万円)	6,548	107.6
プラットフォームソリューション事業 (百万円)	5,415	142.3
サービス事業 (百万円)	27	58.5
合計	11,991	120.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値であります。

(2) 受注及び受注残高状況

当第3四半期連結累計期間の受注及び受注残高状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
ビジネスソリューション事業	13,716	171.4	7,372	143.2
プラットフォームソリューション事業	19,270	108.9	10,189	104.5
サービス事業	2,961	95.9	1,854	101.1
合計	35,948	124.9	19,416	116.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
ビジネスソリューション事業 (百万円)	14,158	97.3
プラットフォームソリューション事業 (百万円)	18,480	119.0
サービス事業 (百万円)	2,857	145.2
合計	35,496	110.8

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
三井物産㈱	8,516	26.6	7,593	21.4

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値であります。